

ぽかぽか

暦の上では、立春ですが、まだまだ寒い日が続いています。春の訪れが待ち遠しいですね。
先月の中旬からの個別懇談では、お子様の日々の様子や課題などを話し合い、来年度の利用方法や曜日についてなど方向性を明確にすることができました。アンケートへのご協力もありがとうございました。ご利用枠の正式決定は3月中旬頃になります。決まりましたら、保護者様お知らせしますので、しばらくお待ちください。

～お知らせ～



◎土曜育児相談について

- ・2月29日(土)の午前中に土曜育児相談を行います。ご希望の方は、スタッフにご予約ください。
- ・3月は予定していませんので、2/29が今年度最後の土曜育児相談日となります。

◎配食サービスをご利用の方へ

注文のキャンセルは前日17時までとなっていますが、前日が祝日や閉所日に該当する場合は、キャンセルができません。前日が祝日等の場合は、前々日までのご連絡にください。

◎持ち物についてお願い

- ・小さな物にもすべて名前を書いてください。
- ・着替えセットの中に汚れ物用のナイロン袋を入れておいてください。



◎感染症について

インフルエンザ、ノロウイルスなど感染症にかかった場合は治癒するまでお休みいただくようになります。罹患した場合、保育園等に通園しているお子様は、園に通園できるようになった時点で治癒したとみなしますので、socio 宛に治癒証明を出していただく必要はありません。未就園児に関しては、必要に応じて治癒証明の提出を求める場合があります。その場合はこちらからその旨を連絡いたします。ご不明な点はスタッフまでお尋ねください。

◎見学会について

療育の利用を検討されている方対象の見学を随時お受けしていますが、この時期は見学のお問い合わせが多く、利用者の皆様にはご負担をおかけし、申し訳ありません。通常は、利用している子どもたちの負担を最小限にできるよう1日1組に調整していますが、20日(木)21日(金)は新規見学会を予定しており、見学者が複数になることが予測されます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

～子どものつづきにはっと！～ある小学生のお話

Aちゃんは本が大好きな女の子、大好きな本がAちゃんの安心アイテムです。休み時間など本を読んでいる時は、穏やかなときもあるAちゃんですが、授業中は集中が難しく、教室の中を歩き回ったり、テラスに出たり、大声を出したり、暴れたりしていました。

4年生になったAちゃんは、授業の開始から自分の席に座り、着席時間も長くなり、支援学級ではなく交流級に帰ってきて勉強をする時間が増えていました。落ち着いて過ごせることも多くなっていたのですが、机の上に置いているお気に入りの本をしまうように指示されたことをきっかけに怒りだし、一旦怒ると切り替えができず、学級に帰って来なくなるのです。

クラスメイトのBくんが帰宅後、このできごとを家族に話しました。家族は、BくんがAちゃんに対して困っている話かと思い聞いていたら、その逆でした。Bくんの話はこうでした。

『Aちゃんは1年生の頃から、勉強の時も歩き回ったり、自分が読みたい本を授業中でもお構いなしに読んだりしていた。でも、今は違う。お気に入りの本を机に出しているけど、置いているだけで見ている。お気に入りの本が机の上にあるだけで、頑張れるんだ。ぼくたちはずっと同じクラスでみんなそのことを知っている。だから、誰も何も言わない。でも(新しい)先生は「しまいなさい」と言う。Aちゃんはすぐにはしまえない。でも何回か言われたら怒らずにしまう。だけど先生が「なんで1回言われてしまえないの?」と言う。そしたらAちゃんがしまった本をまた机に出す。また先生が注意して何回目かでやっとうしまう。これが何回か続いたら、Aちゃんが暴れます。ぼくもAちゃんと似ているからわかるんだけど、1回言われてもできなくて、3回くらい続けて言われたら「あ～そうか」と思ってできる。何回か言われたとしてもしまったんだから、「よくしまったね」って言ってあげたら暴れないんじゃないのかな。お気に入りの本を置いておくだけで頑張れるんだから置かせてあげればいいのにな。ぼくたちは誰も怒ってないのに。』先生もクラス指導として当たり前のことを言われたのだと思いますが、友達に寄り添おうとした子どもの感じ方……少し考えさせられる話でした。

そして、Bくんの話は続きます。『お母さんもぼくに「何で何度も言われるの?」「1回ですて」って言う。でも、「よくできたね」ってあんまり言ってくれない。』はっとさせられる言葉です。

認めることやスモールステップで進めることの大切さと、できる・できないにとらわれずその子のよさ(個性)を理解することの大切さ、よさをわかってくれる人がいることが子どもの情緒の安定に必要ということ、スタッフも多くのことを考えさせられたAちゃんとBくんのお話でした。

～就学、進級を控えたこの時期、困ったことや周りとの差に目が行きがちですが、「どんなふうにしたら頑張れるかな。してみようとするかな。」という視点も忘れないようにしたいと思います～